

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第160号

令和7年春彼岸号

臨濟宗 宗禅寺
建長寺派

住職 高井正俊
徒弟 高井和正

羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

春のお彼岸を迎えます。お墓参りをして手を合わせると自分との命の繋がりを感じられます。恒例の春の文化展も開催致します。今年の特別展は地元羽村川崎出身の島田博雄さんの絵画の展示がございます。遠く和歌山からご出品をいただきます。また、地元川崎在住の菊田明理さん、羽村の五十嵐誠さんと並木貴以子さんの作品も同時に展示致します。地域の皆様の芸術作品も一同に展示致します。観覧無料です。墓参の折に是非お立ち寄りください。

令和七年三月二十日(木・祝)～二十三日(日)

午前十時～午後四時(最終日三時) 観覧無料

第二十三回 春の文化展

【特別展】はむらアート3

絵画・島田博雄さん 木工芸・五十嵐誠さん
気球の写真・菊田明理さん 陶芸・並木貴以子さん

【地域の皆様による一般展示・友情出品】

写真・絵画・書道・篆刻・オリジナル新聞・パッチワーク・陶芸・能面・活け花
フラワーアレンジメント・水墨画・彫金・押し花・写真・フィッシュモデル 他多数

※春彼岸早朝坐禅会・三月十七日(月)～二十三日(日)毎朝六時～七時開催致します。

※お彼岸の付け届けは同封の封筒の通りです。ご協力お願い致します。

※四月八日(火)午後一時から、お釈迦様の誕生日「花祭り」法要執り行います。 生田流箏(琴)の生演奏も致します。

※羽村や西多摩の文化に触れる土曜講座を毎月開催しています。背表紙に詳細がございます。ご参加お待ちしております。

独演劇『土佐源氏』の上演は実に

1223回。宗禅寺でも1208回目
の芝居を披露した俳優坂本長利
さんが昨年春に御逝去されました。

坂本さんを偲んで、一人のファンでも
あり、親交のあった五大路子さんが朗
読公演を致します。

皆様のご来場をお待ちしております。

俳優故 坂本長利さん

一周忌記念

五大路子ひとり語り

『母恋ふ』

～長谷川伸

『ある市井の徒』より～

日程 四月二十七日(日)

時間 開場 十三時半

開演 十四時

入場料 千円にて

※要事前予約。観覧料は当日。

※三月十五日より電話、メールにて受付

二十三回春の文化展 特別展に寄せて

島田 博雄

私が羽村を出てからもう五十四年の歳月が経った。昭和二十二年に羽村で生まれ、大学を卒業するまでこの地で育ったが、卒業にともない岩手県花巻市に教職を得て赴任。それ以来故郷の地で暮らすことはなかった。月並みな言い方だが、若い時はただガムシヤラに生きていくために前に進むことしかなく、日々の思いはそのことで精いっぱいだった。故郷を捨てたわけじゃなく、きつと羽村に帰るという気持ちは心のどこかにあったから、それは当然のこととして日々を過ごしてきた。

しかし結局私は帰らなかった。人生にはそう思っているもそうならないことがある。意志の問題なのか、運命なのか定かではないが、自分の意に副わない道を受け入れて生きていくとき、人は少しづつ「思い」や「思い出」を深めていく気がする。故郷

はそんな土地として心にしまわれた。

五十四年の歳月が経ち、私はいつか画家を目指し、絵を描くことに没頭してきた。

一昨年銀座で個展をした折、おもいがけない方が見に来られ絵を購入していただいた。それが故郷の宗禅寺の住職をされていた高井さんだった。他のお客の対応もあり、短い時間での立ち話しかできず心が残ったが、私は再会にびつくりすると同時に幼なじみの彼との思い出が、時を超えて溢れ出てくるのにいささか興奮していた。幼児のころ宗禅寺にあった保育園に通っていたのでそこでの交流以来だった。高井さんは確か二つ年上で、小学校に上がるまで一緒に遊んでもらったのを覚えている。私は泣き虫なくせに少々やんちゃだったので、お寺の高い屋根のてっぺんに上って高井さんのお父さんに怒られたり、本堂で鬼ごっこして縁側から池に落ちたり。花祭りや、お寺のグラウンドでの盆踊りも楽しかった。そんな懐かしい思い出とともに高井さんはやってきて、風のように帰って行かれた。

それから間もなく、高井さんから電話があった。「毎年宗禅寺で行っている文化祭で作品展をしてもらえないか」という招待のお話だった。私は二つ返事でお引き受けした。(大変なこととはつゆほども考えず。なにしろ一年で五十号の作品を含め七つの新作を描かねばならないのだ。)でも作品展をやりたいと強く思った。故郷で作品展ができるというのは長い間の夢だったから。それを叶えられるのは幼なじみの先輩のおかげである。

羽村は—その地で生まれ育ったということは、私の想像力や感受性に影響を及ぼしていると思う。いわば五感の根源に故郷の自然の記憶、家族との生活、友人関係、幾多の出来事—喜怒哀楽—などが血肉になって堆積している。それは無意識的にも作品にあらわれている。どんなに時間が経過しようとも、故郷はいつも私の中心だった。この特別展に出品する作品にはそんな思いがこめられている。

二月十五日

お釈迦様ご命日

涅槃会報告

二月十五日お釈迦様のご命日に涅槃会を行いました。涅槃はインドの古い言葉ではニルヴァーナ（消える）と言い、煩惱を滅し尽くした状態を指しています。際限ない輪廻からの解脱の意味にも用いられようになりました。

お釈迦様は無常を説かれましたが、肉体が滅びることは自然なことであるが、自分が遺した教えは永遠に生きること最後に説かれました。

当日は御詠歌と読経の後、檀信徒太田博子さんのハープの演奏をいただき、冬の本堂に春の麗らかさがもたらされました。また来年も行います。皆様のご来場をお待ちしております。

お釈迦様誕生日

四月八日に花祭り

法要を行います



四月八日は仏教の教えを説いたお釈迦様の誕生日です。お釈迦様誕生を讃嘆して、花祭り法要を開催致します。どなたでもご参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。

【花祭り法要】

○四月八日（火）午後一時から

○参加費 お賽銭にて

○イス座禅をします

○鎌倉流御詠歌をみんなで歌います

○般若心経をみんなで唱え、手を合わせます。

○生田流箏（琴）の生演奏を楽しみます。

○お帰りに甘茶のお土産がございます。

八月十七日（日）午後

祈りの集いを開催します

本年令和七年は戦後八十年、阪神淡路大震災から三十年の節目の年を迎えています。八月の旧盆に祈りの集いを開催致します。命の儚さのこと、その命をいただいて今自分が生きていること、色々なことを見つめる時間にできればと思っております。

詳細はお盆号に掲載致します。

十二月二十日（土）

宗禅寺納会

お寺で活動している各会の皆様に集まっていたいただき、納（おさめ）の会を行います。ご予約下さい。プランもお考え下さい。

連続掲載詩集『春の旅人』 『雪』

夕ぐれから

雪でした

酒に酔った父になぐられて

母は雪の外へ……

あれからもう二時間がたっています

どうしたらいいのか

わからない

泣くばかりの妹と

あけはなした縁側にすわり

雪のふるのを眺めています

雪のなかを

母はどこへいったのか

雪、

雪、

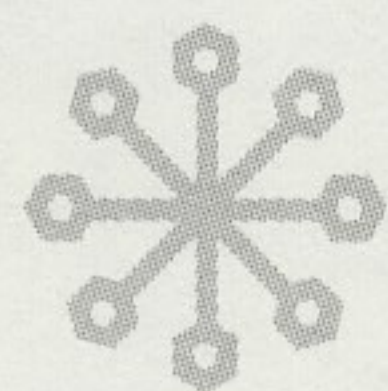
雪と

寒い母

雪はしんとふりつづいています

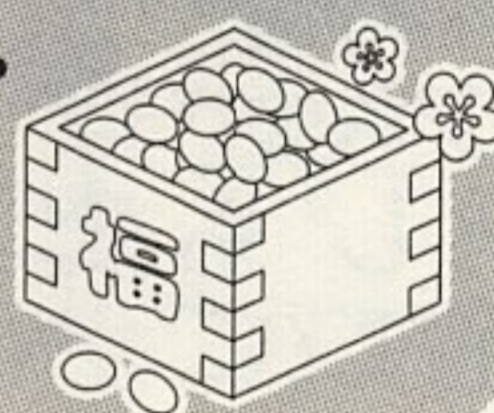
島田博雄著詩集『春の旅人』より

春の文化展特別展に絵画を出品
されています。



二月二日 節分追儺豆まき会

御報告



去る二月二日、恒例のお薬師様の節分豆まき会を執り行いました。当日は早朝には雪が降るとの天気予報もあり、皆様が集まって下さるか心配しておりましたが、雨も上がった中での豆まきとなりました。

まずは本堂南の間での御詠歌奉詠と薬師堂での祈祷法要です。今年も沢山の皆様から祈祷御札のお申し込みをいただきました。皆様の一年の安寧とご健康をお祈り致しました。

法要後には豆まきです。宗禅寺の豆まきでは、来場いただいた全てのお子様壇上から豆を撒くことができます。小学校に上がる前のお子様でも親御さんに手を引かれ、壇上から豆を元気に撒いていました。

豆まき後はお子様にはお菓子のプレゼント。大人には一袋、ご家庭での豆まき用の豆をお配りしています。また、大人の豆まきの中に富くじを入れていて、掴むことが出来た方には景品をお持ち帰りいただいています。

全ての行事が終ると、客殿にて年取り

の宴をしています。年男・年女の方には記念の豆と升をお渡しして、新しい一年が始まります。

当日は朝から大勢の皆様にお手伝いをいただきました。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。また、御札をお求めいただいた皆様もありがとうございました。



お子様による豆まき。来場いただいた全てのお子様壇上から豆を撒けます。



実は鬼さんからはお菓子をもらえます。恐る恐る近づくお子様もいらっしゃいました。



薬師堂では祈祷法要を行っています。少し小さなお堂ですが、薬師堂は羽村市の文化財となっています。



赤鬼さんと青鬼さん。鬼のお面はお寺の禅センターで木彫教室をされている能面師、新井達矢さん制作のお面です。

【らいむぎハウスから 皆様へ】

ボランティアスタッフ

下田 明子

私は、こども食堂のお手伝いをさせていただいております。

きっかけは、2年ほど前「宗禅寺で子供たちに食事を用意するのですが、お手伝いが足りない」と、お声がけをいただき、「お役に立てるなら」と参加したのが始まりです。実はその時、リアルてらこやの存在を把握しておりませんでした。

当日、調理担当リーダーさんに教わりながら、夢中で作業し、出来上がった料理を美味しくそうに食べているたくさんの子供たちの笑顔に、とても感動しました。

その日の終わりのミーティングで、リアルてらこやが、子どもの居場所である事、子どもたちが自由に好きなことができる事、運営面で多くの団体様がお支え下さっている事等のお話を聞き、代表の水嶋さんをはじめ、ボランティアスタッフの方々の熱意に感銘を受けました。そして次回も参加したい、という思いからお仲間に加えさせていただきました。

お正月は餅つき、春はタケノコ掘り、

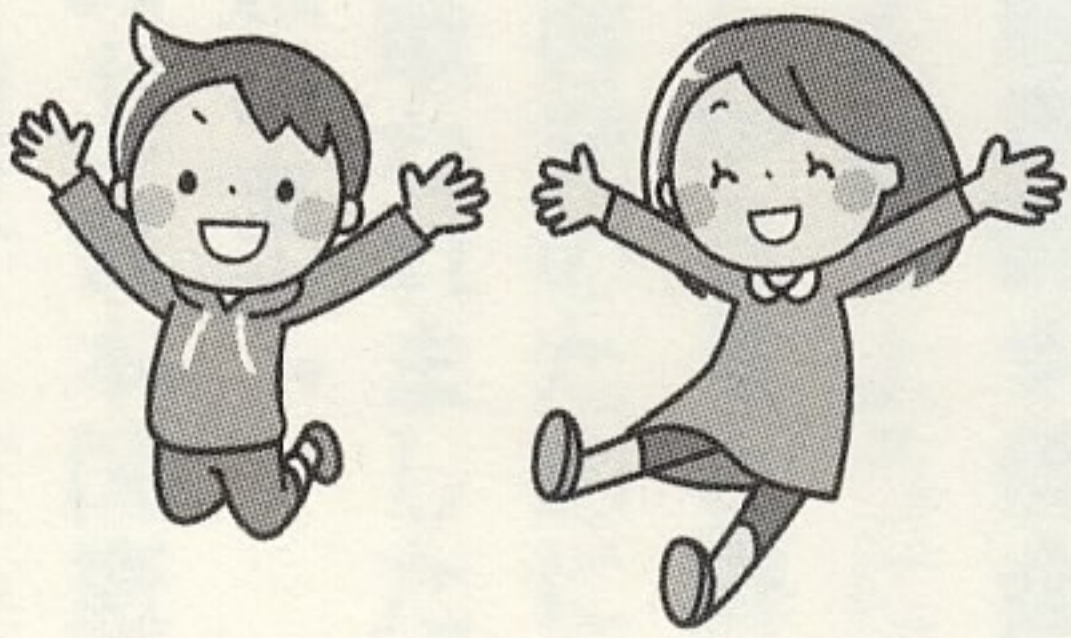
夏は流しそうめん、秋はサツマイモご飯等、様々なイベントを通し、季節ごと調達できる食材で、私自身が子供たちと一緒に調理し、食べる喜びを乐しませていただいております。

また、歌のボランティアとしても活動しています。

『いっしょに歌おう！』をテーマに、夏休みスペシャルではジブリメドレー等全4曲、クリスマススペシャルではギター演奏していただきながら、クリスマスソングメドレーの大合唱となり、楽しい時間を過ごす事ができました。

このような活動ができるのも、素晴らしい場所を提供してくださる、宗禅寺の御住職、御家族の皆様、更に温かく見守り続けてくださる檀家様に心より感謝を申し上げます。

今後もご支援いただいている多くの方々に感謝し、ボランティア同士が協力し、信頼関係を築く中で、リアルてらこやが子ども居場所だけでなく、そこに関わるすべての方々の大切な居場所であるようお願いながら、精進してまいります。



現在平均で50人の子供たちが集まってくれています。



搗き手のメインはやはり男性。みんなの活力で運営しています。



1月は餅つきをしました。

お寺での活動にあたって 和尚からのお願い

住職 高井正俊

皆様方のおかげで、お寺にはいろいろな会
があります。

【皆様から】

- ・手打ちうどん・そば教室
- ・いきいきお寺ヨガ
- ・リアルてらこや
- ・新聞サロン
- ・木彫教室
- ・宗禅寺俳句会
- ・尺八吹禅の会
- ・将棋クラブ
- ・平家琵琶を聴く会
- ・介護予防体操
- ・くれよんの会
- ・ポコアポコ(不登校の親の会)

【お寺主催】

- ・土曜坐禅会
- ・朝粥坐禅会
- ・土曜講座
- ・写経の会
- ・御詠歌講

宗禅寺の五だ行事としては

- ・節分豆まき会
- ・春の文化展
- ・お盆お施餓鬼法要
- ・薬師如来大祭
- ・除夜の鐘

お寺を活用して活動している個々の会
は、それぞれの主催者の元に活発に活動し
ています。ありがたい事です。
こうした活動を通して思う事

昨年からお寺では法事の最初に「宗禅寺
入山心得」を皆で唱え、次に「イス坐禅(三
分ほど)」をしていただいています。総代会
や薬師講役員の新年会でもしていただき
ました。

宗禅寺の五だ行事の中の節分と薬師如
来大祭は、寺のお薬師様を元とする行事で
す。川崎のお薬師様は寺が創建される以前
から存在しており、「村持ち」として川崎村
の方々全体によって保持されています。

寺は檀信徒皆様はもちろんのこと、総代
会、護持会、薬師講、寺子屋委員会、女性サ
ンガの会、文化展実行委員会の方々によつ
て支えられています。女性サンガの会は、
節分、薬師如来大祭の裏方として行事を支
えてくれています。

このサンガの会は、お寺にお出で下さる
女性の方々によって構成されています。

和尚からのお願いですが、この会に諸会
の方々に入っていただき、行事を支えてい
ただきたいです。是非、お願い致します。

◎お寺は学びの場であり、参加者が元氣に
なる場です。

○特に毎月一回の土曜講座にお出かけい
ただき、学びと交流の場にしていただけ
ると有難い事です。

○新しくこの地に来ていただいた方にも、
参加して欲しいと思います。

○年間を通して、お寺での諸活動に参加を
され、学びと交流を体験して下さい。

十二月二十日(土)、一年間の納(おさめ)

墓じまい

最近お寺にお墓の後継者がいないので
すが、お墓をどうしたらいいですか、お遺
骨の守り手がいなくなったらどうしよう
か、とのご相談が増えていきます。

宗禅寺には、永代供養塔 があります。
お遺骨は寺で供養していきます。御安心下
さい。墓石もお寺が供養して、石屋さん
がしっかりと後処理をして下さいます。ど
うぞ御安心下さい。必要経費はあります。

文庫長だより 島田 秀男

今年で阪神・淡路大震災から三〇年を迎えました。この震災以降東日本大震災や昨年の能登半島地震など大規模な災害が発生するたびに、全国から多くの災害ボランティアが参集し、注目されるようになりました。

地域のコミュニティ活動を支えているのは、市民活動団体や町内会・自治会です。近年では、震災における「きずな」や「共助」が強調され、町内会・自治会活動への期待が高まっています。

町内会・自治会の成立過程を振り返ってみます。町内会・自治会は、江戸時代五軒を一組として編成された連帯責任、相互扶助の組織・五人組に由来するといわれています。

明治二十一年(一八八九)、市制町村制が公布され、これにより地方制度の改革が図られ、町村の合併が進められました。明治二十二年(一九〇〇)四月、川崎村、五ノ神村、羽村が合併し西多摩村が誕生しました。町村制の条文に町村の区域が広域であるとき、または人口が多く集まっているときは数区に分けて各区に区長及び区長代理者を置くこととなっています。

『西多摩村誌』には、明治三六年(一九〇三)一〇月、「時代の進歩、本村の発展に伴い行政事務も漸次複雑多岐となれるにより事務遂行上の敏捷円滑を計るため」区長を置く」と記されています。当初は西多摩村を「川

崎・五ノ神・東ヶ谷戸・奈賀・加美・小作」六区に、次いで八区にし、明治四十一年(一九〇八)三月に十一区、大正一四年(一九二五)十二月に十二区に改正されました。

区長及び区長代理者は、村の行政側と区内の人たちとの間にたつて両者の意志の疎通を図り行政事務の進展を期することを目的としています。また、行政事務を補佐することや区内に起きたさまざまな問題を率先して解決の方向に導くことの責務があるとされています。

現在でも町内会長ではなく、地区長と呼んでいる地域があります。

日中戦争の勃発による戦時体制のもとで、昭和十三年(一九三八)四月「国家総動員法」が公布されました。この法律は、あらゆる経済活動や国民生活を戦争遂行に振り向けるために動員することを目的としていました。昭和十五年(一九四〇)、内務省訓令「町内会部落会等整備要領」によって全国の村に部落会が強制加入で設立されました。

そして、部落会およびその下部組織に隣組体制が確立し、戦時下で、国策の浸透手段としてだけでなく、食料や衣服等の生活必需品の配給性の実施など機能を担うようになつたのです。「とんとんとんからりと隣組」で始まる歌は、隣組の宣伝啓発のために作詞・作曲されました。戦後も歌われましたから、覚えている方も多いと思います。

敗戦後、昭和二十二年(一九四七)日本国憲法の施行と同時に、アメリカ占領軍・GHQは部落会や隣組等を戦争に協力した組織と

して解散するように命じました。しかし、戦後復興期の混乱にあって、町内会部落会のような地域組織は不可欠でした。町内会部落会は形を変えて存続し、あるいはそれに相当する組織が新たに結成されました。

『川崎町会の記録』(宗禅寺文庫第一巻)では、今までの「川崎部落会」では、新しい時代に追いつけないので、合理化した組織にすべきとの意見からその組織や運営を見直す検討が行われ、昭和三十一年(一九五六)に「川崎町会」を結成したことが記されています。

また、十一年後の昭和四十二年(一九六七)には発展した町に町内会の活動が適切に応じられるように、区域を細分化し、東、西、上水通り、神明台、工業地区の五町内会とすること決めていきます。

町内会・自治会に期待が寄せられている一方、羽村市では現在加入率が三〇%を切っている状況のなかで、これまでと同様に活動が維持できるといえるのは無理があるように思われます。

『川崎町会の記録』は、これからの町内会・自治会の将来を考えていくうえで、適切な示唆を与えてくれるのではないでしょうか。

《参考文献》

玉野和志『町内会』(ちくま新書)

日高昭夫『町内会自治会をめぐる国の

政策関与の歴史的展開』(論文)

宗禅寺毎月の活動

—お寺で本当の自分に気づく—

- 朝粥坐禅会…… 毎月第一日曜日 朝6時～8時 坐禅後に禅の食事作法に則ってお粥をいただきます。
鐘を撞きながら般若心経読経。ご予約ご不要です。4/5 5/3 6/7 7/5
- 土曜坐禅会…… 毎週土曜日 子供:18時～19時 大人19時半～20時半 足にご不安の方には、
イス坐禅もございます。予約不要です。
- 彼岸早朝坐禅会…… 3月17日(月)～23日(日)毎朝6時～7時。ご予約ご不要です。
- 土曜講座…… 毎月1回開催の公開講座。毎回13時～16時。地域文化と財産の再発見に。
- 写経会…… 毎月1の日(1日、11日、21日)13時～15時般若心経写経。支度片付けは全員で。
※3月21日は春の文化展開催の為、お休みです。
- 鎌倉流御詠歌…… 毎月第1第3火曜日13時半～15時ホトケのココロを歌に乗せて 指導:高井淑子
- 手打ちうどん教室…… 現在2クラス開講中。各クラス月1回。講師:島田辰夫先生
- いきいきヨガ…… 毎月第1第3木曜日10時～11時 予約不要¥500 要ヨガマット、水分補給飲料
講師:園部多恵子さん <https://www.instagram.com/tae.yoga/>
- リアルてらこや…… 毎月第2土曜日午前中 毎月第4水曜日午後2時～7時半(小学生は4時半まで)
土曜日はお寺客殿、平日は裏の第二駐車場隣の「みんなの家」にて開催。
主催:らいむぎハウス 問い合わせ090-5542-6159(水野)
子どもたちの学習支援、居場所づくり、こども食堂。ボランティア募集中。
- 木彫教室…… 毎月第1第3土曜日 13時～16時 講師:新井達矢先生 見学可能 仏像や
能面を彫ってみませんか? 月謝5,000円(道具、材料費は要別途)
新井達矢先生ブログ <https://ameblo.jp/tapazya-1982/>
- 俳句教室…… 毎月1回適宜。問い合わせ:中野つたえ 042-554-2444
- 尺八吹禅の会…… 毎月第1第3月曜日 19時半～21時頃 坐禅15分、練習60分
問い合わせ:坂井陵童 042-554-3273
- 将棋愛好会…… 毎月第3日曜日13時半～16時半 老若男女問わずご参加下さい。お子様の
御参加も大歓迎です。 問い合わせ:新井政昭 090-3089-3011
- 新聞サロン…… 毎月第4土曜日13時～14時 新聞を使って自分の世界を楽しく広げましょう。
お子様のご参加大歓迎。要予約 鹿野川喜代美 042-554-7343 090-6549-0751
- ▲介護予防体操…… 健康体操をみんなと一緒にいきます。9月から会場はみんなの家です。
毎週金曜日14時～16時

○薬師講中・寺子屋委員会・護持会・女性サンガの会 ——活動中です——

○禅センター・みんなの家 ご使用下さい □各会の会場:●宗禅寺 ○禅センター ▲みんなの家

土曜講座のお知らせ

“創ろう地域の文化を人から歴史から”のもと、月一回の文化講座です。予約不要、お茶代三〇〇円。どなたでもご自由にお出かけ下さい。

◆第百回 三月二十九日(土)十三時～十六時

- ・イス坐禅 住職 高井正俊
- ・講談「耳なし芳一」 講談師 菊地玉雲師
- ・「私が旅に出る理由」

気球写真家 羽村川崎在住 菊田明理さん

◆第百一回 四月二十六日(土)十三時～十六時

- ・イス坐禅 住職 高井正俊
- ・講談「新平家物語より」 講談師 菊地玉雲師
- ・「中里介山のことをもつと」

宗禅寺文庫長 島田秀男さん

◆第百二回 五月二十四日(土)十三時～十六時

- ・イス坐禅 住職 高井正俊
- ・講談「新平家物語より」 講談師 菊地玉雲師
- ・「戦後八十年に思う」

〓〓戦後強制抑留と遺骨収集〓〓

羽村市在住 荻原稔さん

◆第百三回 六月七日(土)十三時～十六時

- ・イス坐禅 住職 高井正俊
- ・講談「新平家物語より」 講談師 菊地玉雲師
- ・「コミュニティ放送局福生・羽村」

FM RADIO 234 開局にあたって

原 恭子さん・渡邊 寛子(川崎在住)さん

鎌倉禅研究会のお知らせ

鎌倉建長寺で行っている禅の勉強会です。ご予約ご不要。入口で入山料五〇〇円、会場で資料代五〇〇円を納めて下さい。会場でお会いしましょう。

◆二百八回 四月十日(木)

- ・「鎌倉中期に於ける羅漢図」 鎌倉国宝館学芸員 中川 満帆先生
- ・「蘭溪和尚語録を読む」 法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹先生

◆第百九回 五月二十九日(木)

- ・「僧堂の食作法」『赴粥飯法』の解説と実演」 鶴見大学講師 徳善寺住職 尾崎 正善先生
- ・「唱衣法について」僧の遺品と叢林」 公益財団法人中村元東方研究所専任研究員 金子 奈央先生

◆第百十回 六月十九日(木)

- ・「明治期居士禅の展開」 (二)〓川尻宗岑の禅と思想〓」 円覚寺教学部長 蓮沼 直應師
- ・「西田幾多郎をめぐる」 明治大学教授 美濃部 仁先生

※時間は午後一時開始。午後四時半終了予定です。

鎌倉・食を学ぶ会 in 建長寺

鎌倉・食を学ぶ会もおかげさまで二年目に入ります。今年からは二カ月一回の開催となります。どなたでもご参加できます。お出かけ下さい。建長寺入山料五〇〇円。会場に参加費五〇〇円をお願いします。

◆第十六回 四月一日(火)十三時～十六時

- ・「鎌倉の網元の話」 長四郎丸網十代目 加藤 彰一さん
- ・「鎌倉・時代食講座」中世のお菓子」 伝統食研究家 山田 雅子さん

◆第十七回 六月三日(火)十三時～十六時

- ・「海と地球の研究をして」 元国立研究開発法人海洋研究開発機構 鷲尾 幸久さん
- ・「鎌倉海藻。ポークなど」 料理研究家 矢野 ふき子さん

【平家物語を平家琵琶で聴く会】

毎月第二土曜日、日曜日に宗禅寺客殿で開催

- ・四月十二日、十三日
 - ・五月十日、十一日
 - ・六月十四日、十五日
 - ・七月十二日、十三日
- 全て午後一時から四時頃終了予定 参加費五〇〇円
 演誦者 前田流平家琵琶

鈴木孝庸(たかつね) 荒井今日子

問い合わせ：鈴木孝庸 090-1267-0864